

第2回国際シンポジウム 開催報告

開催日：1999年11月30日
会場：国際文化会館
参加者：約70名
テーマ：経営倫理に関する日・米・韓の現状と課題

1999年の第2回は、日・米・韓の三国における企業の経営倫理のより一層の協力関係を構築するため、米国からCEE（Council of Economic Ethics）専務理事のデビット・スミス氏、韓国からは韓国経済連合会の兪 翰樹氏、檀国大学教授の高 承禧氏、韓国産業経済開発院の李 種永氏をゲストにお迎えした。スミス氏は、米国の現状とCEEの発足及び活動の経緯について講演された。韓国の現状と将来の展望については、高氏及び李氏によって発表された。パネル討議では上記4氏に加え、経団連社会本部長・田中清氏が参加し活発な意見交換が行われた。

【スケジュール】

10：00-10：15	開会の挨拶 水谷雅一（経営倫理実践研究センター会長）
セッション1 テーマ「経営倫理に関する基軸三国の現状と課題」	
10：15-11：10	講演「アメリカにおける経営倫理の現状と課題」 デビッド・スミス氏（CEE専務理事）
11：15-12：10	講演「韓国における経営倫理の現状と課題」 高 承禧氏（韓国企業倫理学会副会長） 李 種永氏（韓国産業経済開発院理事長）
セッション2 テーマ「経営倫理に関する基軸三国間の協力について」	
14：00-16：00	パネルディスカッション パネラー 米国 デビッド・スミス氏 韓国 高 承禧氏 兪 翰樹氏（全国経済人連合会専務理事） 李 種永氏 日本 田中 清氏（経済団体連合会社会本部長） コーディネーター 水谷 雅一（経営倫理実践研究センター会長）